

1 競技規則について

本競技会は2019年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会規定によって行う。

2 競技場使用上の注意

- (1) 応援はすべてスタンドで行うこと。グラウンドにおりての応援は禁止する。
- (2) ゴールした選手も含め、一切本部前の通行を禁止する。(本部側を使用する場合)
- (3) 400mまでのトラック競技はスターティングブロック(連結式)を必ず使用すること。ブロックは主催者で準備する。

3 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップはバックストレート、管理棟前通路、及び競技場周riを使用する。なお、競技に支障のないように気をつけること。
(バックストレートを使用する場合は、本部側とする)
- (2) ハードル練習については、競技場内に設置するのものを使用すること。個人でのハードルの競技場内への持ち込みは禁止する。
- (3) フィールド種目の練習は、招集完了後、競技役員の指示により競技場内で練習を認める。それ以外の投てき練習は、競技場内では禁止する。
(競技場周辺でのメディスンボール、ソフト砲丸投等は可。一般の人の通行に注意)

4 招集について

- (1) 招集はすべて現地コールとする。なお、招集開始・完了時刻は以下の通りである。
- (2) 招集の手順
 - ア 選手は招集開始時刻に現地に集合し、係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード(前・後)・スパイクピンの点検を受け、腰ナンバーを受け取る。
 - イ 2種目以上に出場する競技者は、代理人を出すなり、係の役員に伝えるようにしなければならない。 (多種目同時出場届けは不要)
 - ウ 招集完了時刻に不在の競技者は棄権と見なし出場できない。
- (3) リレーのオーダー用紙は招集完了時刻の1時間前までに本部へ提出すること。
用紙は本部に取りに来ること。

競技種目	招集開始時刻
トラック競技	10分前(点呼開始)
フィールド競技	20分前(点呼開始)

5 競技について

- (1) トラック競技
 - 予選におけるトラック競技の走路順はプログラム記載の学校番号の左に示されている順とする。(レーンをあける場合があるので注意すること)
- (2) 腰ナンバーは、競技終了後ゴール地点の役員に返却すること。

(3) フィールド競技

試技順はプログラム記載番号順とする。番号・名前を呼ばれたら速やかに試技すること。（自分の順番が近づいたら準備しておくこと）

(4) 三段跳は 11m の踏切板、9 m の踏切線のどちらを使用してもよい。

(5) 競技前の跳躍・投てき練習は役員の指示により行う。

(6) フィールド競技に出場している選手がトラック競技にも出場する場合、フィールド審判の指示により、場所移動すること。勝手に移動した場合、試技数などで不利になることがある。

(7) スタートについては、イングリッシュコマンドとし、1 回目に不正スタートしたものを失格とする。尚、混成競技においては、各レースでの不正スタートは 1 回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、すべて失格とする。（競技規則第 162 条 8）

(8) スタートにおける不適切行為について

ア. 第 162 条 5 を適用しない。

イ. 第 162 条 5 の (a) (b) (c) の不適切行為に関しては注意にとどめる。

（グリーンカード）

ウ. 明らかな遅延行為や、妨害行為があった場合は警告とする。（イエローカード）

エ. イエローカードが提示された場合は、総務、各審判長、記録情報処理へ速やかに連絡し、情報を共有すること。（イエローカード累積 2 枚で当該種目のみ失格）

6 走高跳のバーの上げ方について

		練習		上げ幅		上げ幅	
走高跳	男子	1 m 3 0	1 m 3 5	(+ 5)	1 m 7 5	(+ 3)	
	女子	1 m 1 0	1 m 1 5	(+ 5)	1 m 4 5	(+ 3)	

7 競技用具について

主催者が用意したものを使用しなければならない。

8 その他

(1) フィールド競技は走高跳を除きベスト 8 で挑戦会を行う。

トラック競技は競技日程の組数で挑戦会を行う。

(2) 競技場の美化に協力し、ゴミは各自持ち帰ること。

(3) 選手は必ず県中体連登録のナンバーカードを胸と背中につけること。

(4) ハードルを競技場内に持ち込まないこと。

(5) 大会中の疾病・事故に関しては、参加校で対応すること。

(6) 午前 5 時半に警報が発令されている場合は、全ての競技を中止する。